

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題と一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

マイナンバー騒動の根は深い

お役所に提出する書類にマイナンバーを記入する欄があると、決まってマイナンバーカードの表・裏のコピーを添付しろ、となります。プラスチックカードを配布したはずが、結局それを紙にコピーして提出しないとダメとか理解に苦しみます。印鑑を無くしても無駄と労力が増えています。

これでは情報のデジタル化どころでなく、アナログ化以前に退化しています。情報管理の考え方、運用の在り方が昭和のままなのです。「確認したかを確認するための証拠を残す」という、工数削減をやろうとしないお役所仕事そのものが原因であり根が深い問題です。

既存の工数(作業工程)をデジタルに置き換えることがDXではありません。

当社の社内でも同様の議論は常に起こります。警備員の日々変動する交通費精算についてRPA (Robotic Process Automation) 導入を検討したときのことです。乗車駅と降車駅を路線ソフトに入力して個別計算するのですが、もし交通費を一律定額支給にすれば計算業務そのものが不要になるのでは？との意見の前に既存の作業の温存につながるRPA導入は見送られました。

お役所でも、民間でも今行っている仕事の洗い直しが無いとDXが非効率を温存・助長する方向に働くこともある一例でしょう。



当社では新卒(高卒)採用をはじめて14年目を迎えました。前年度は17名の新入社員が当社に仲間として加わりました。採用実績一覧を同封してありますのでOBが在籍する方はぜひご連絡ください。

今年度も、東葉警備保障株式会社をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

松本 隆一郎